

正保録

三年正月
至三月



			和書門
一	一	一	一
冊	〇	八	五
	架	三	七
		函	號

庫文閣内		
一	一	和
〇	五	
三	八	
函	五	
二		

内閣文庫	
番號	和 15857
冊數	11 (6)
函號	163 209



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

柳里但馬守
石山守

但馬守

己上別所墨書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

御書院

屋梁及石壁之産也

水戸及

新橋及

因幡信濃

水戸及

水戸及

水戸及

右方國海軍並水戸及

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

水戸及

水戸及

水戸及

水戸及

水戸及

水戸及

水戸及

水戸及

水戸及

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

右方國海軍並

今席水止候分二言三國上之極際
此三方之極一右之水也流之極
此持節之河也今新之極之極
右之水也内之極一此三方之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極

此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極

二言三國之中極一此三方之極
右之國是之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極
此水之極一此水之極一此水之極

此三方一之極

此三方一之極

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

右方國源氏家以上限の三三三三三

五

松平或於其痛 方 國 派 出 銀 五 萬 兩
際 而 中 程 以 持 系 之 以 出 札 出 是
下 之 方 而 處 在 之 內 之 出 砂 出 之 何 出 派
自 是 而 在 際 之 際 戴 返 同 是 後 之 處 蓋
之 於 出 籍 之 子 松 平 際 派 派 之

中 三 年 五 月 五 日

松 平 親 中 書

五 年 五 月 五 日

昌 川 內 信 正

去 派 三 銀 少

何 於 對 之 書

松 平 親 中 書

何 於 對 之 書

收 據 因 道 派

右 在 之 人 宛 之 方 國 派 持 系 之 以 出 札 出 是
際 戴 返 同 是 後 之 處 蓋
右 在 之 人 宛 之 方 國 派 持 系 之 以 出 札 出 是
出 札 之 方 國 派 下 之 方 而 處 在 之 內 之 出 砂 出 之 何 出 派
出 籍 之 子 松 平 際 派 派 之
出 籍 之 子 松 平 際 派 派 之
出 籍 之 子 松 平 際 派 派 之
出 籍 之 子 松 平 際 派 派 之

近云出地子入

又出地子入

出列

出加

去法右系氣左方同派下之各為下左

内正持系之各出礼出之既或出後

之各言派既

次

之川刑部之捕以方同派出礼出之既

戴是後派既之派亦在系氣之同出地

子入出三方門之在右出各之能為得既

出列既之 後身同各之而之述出各之

既戴之派之各

右各後之各并之各之出之派之

滋川書局

右各保之各少

山各中書

治同或各少

松平修範

松平修範

但各各之之各後之持之之由之

派之

右各各之各之代信為知少之年派之

此礼以唐代之枝而於方国源物
河内言披高之西於 此国名近至者
此礼以年

但方国源物系在方内之

右何儿方国源物在方内之披年
初定之与古国物中与之此披披披披

右经言 古国源物 披

此方

三川刑部痛

此方

古法言痛

乃之理障子後法言河内与以之

此方 御之性此德代古名之方

此方 德之性此德代古名之方
上之面之方乃国源物之系之此礼

此方 亦在布衣并想言之面之合法液
人亦大之德言之此言院言系近至居

此方 年之此礼中之之言言德言河内言
一同披高之德言此方 御之性

此方

右系之

此方

此方

屋山平尾岡山奥醫師如成宗平
未名爲第... 一岡... 水乳... 水乳...
折焉... 市

水底初... 法平... 法眼... 方... 我
部人... 三人... 水... 流... 各... 異... 後
唐... 洋... 然...

布衣... 石... 上... 想... 出... 高... 而... 往... 汲... 人
亦... 流... 注... 一... 福... 何... 流... 納... 二... 龍... 子
古... 漢... 之... 旅... 枝... 泉... 幸... 若... 更... 經... 世... 去... 矣

水... 流... 之... 乃... 有... 河... 內... 之... 傳...

之... 乃... 水... 流... 注... 戴... 以... 子... 是... 後

之... 乃... 水... 流... 注... 戴... 以... 子... 是... 後

一... 岡... 之... 云...

古... 乃... 水... 流... 注... 戴... 以... 子... 是... 後

以... 乃... 水... 流... 注... 戴... 以... 子... 是... 後

以... 乃... 水... 流... 注... 戴... 以... 子... 是... 後

以... 乃... 水... 流... 注... 戴... 以... 子... 是... 後

以... 乃... 水... 流... 注... 戴... 以... 子... 是... 後

河内古くは身内制流役云々

古船之振出船等目録云々
古上振出古振出振出云々

古振出云々
古振出云々

古振出云々
古振出云々

出書

出書

酒井藩夜書等中云々

出地法云々

古書間

出書

松平長門守
松平彰之節
松平彰之節
松平彰之節
松平彰之節

松平長門守
松平彰之節
松平彰之節
松平彰之節
松平彰之節

三國志東夷傳卷之三

郭景伯甲斐文書水書之... 是後... 傳...

席長門書同

右三由東國... 教... 志... 志... 志...

初... 中... 上... 國... 志... 志...

如... 後... 帝... 志... 志...

三... 國... 志... 志... 志...

志

水... 子... 入... 志...

三川刑部補

右... 志... 志... 志...

志... 志...

志... 志...

志

三川刑部補

志

志... 志...

右... 志... 志... 志...

志... 志... 志... 志...

志... 志... 志... 志...

志... 志... 志... 志...

志... 志... 志... 志...

之後吳張廣書之... 但廣書之...
初少如...
以

三三三三三三三三

三三三三三三三三

松平右衛門

丹羽右衛門

右衛門督備

此之由也... 此之由也... 此之由也...

此之由也... 此之由也...

此之由也... 此之由也...

早云

同之種障子... 障子...

此之由也... 此之由也...

此之由也... 此之由也...

此之由也... 此之由也...

玉指

南遊山城寺

松平右衛門

山内修理亮

山内修理亮

深田早雲

深田早雲

至利日尚

系極上品

系極上品

海陸國情

中川内務

系極利之痛

系極上品

加友内務

市上内務

市上内務

交代

水陸極上品

至

至

至

至

至

至

至

至

至

至

至

至

至

至利極痛

至利極痛

至利極痛

至利極痛

至利極痛

至利極痛

至利極痛

至利極痛

至利極痛

至利極痛

右二中方有三方之門海控云云

此說子

此加

此加

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

但云向正京在少中

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

此說必在辰上之字云云

今川

古沃

一 在急川左岸信留谷代

御龍初之御

一 園下別 山田重高院

右御 山田重高院

一 山上院

御宗重高院并後院与酒井河内守

一 山田重高院

右御龍初之御他法

一 山田重高院

一 成別太左衛門

右御宗重高院

御宗重高院

一 御向

山田重高院

御宗

水戸重高院

一 山田重高院

南

松平重高院

松平山田重高院

小

松平山田重高院

松平山田重高院

一 山田重高院

松平山田重高院

一 山田重高院

松平山田重高院

一 山田重高院

松平山田重高院

一 山田重高院及水戸及山田重高院

一 重高院

山田重高院

一 山田重高院

山田重高院

一 山田重高院及山田重高院

一 初秋

出流子名

以研

以加

中候齋居之 隆之 二言三國少中

出初扣何出以耳也出也 而之 為之 愛

居之 少 居之

御前云 乙上出加出也 三言 我

出也 隆之 三言三國 出初扣之 同要

出也 隆之 三言三國 出初扣之 同要

御前云 乙上出加出也 三言 我

出氣加之 三言三國 為持運 同出初代

以研

以加

出也 隆之 三言三國 出初扣之 同要

出也 隆之 三言三國 出初扣之 同要

三研

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

出也 隆之 三言三國

一 亞相黃門黃也波......

吸而為一門後代

水加

水加

御景如云 正上水加......

云云正氣也......

御景如云 正上水加......

正氣如云......

之別

水加代

水加

水加

正氣如云......

正氣如云......

正氣如云......

正氣如云......

正氣如云......

正氣

一 落... 音...

早... 音...

水... 音...

水加

水加

落... 音...

多... 音...

之... 音...

後... 音...

仰... 音...

池田常力

松野... 音...

池田常力

久世... 音...

水加子初 志松

右... 音...

水... 音...

近... 音...

水加代

水加

水加

是... 音...

世... 音...

亞... 音...

上... 音...

池田常力

池田常力

一 此方之...

右之...

以

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

此...

水戸藩門主上之御用
正上御用少将之御用
初上少将之御用
少将御用

世師御用

少将

少将

水戸藩

少将

少将

水戸藩門主

御用

御用

御用

水戸藩門主上之御用

正上御用少将之御用

初上少将之御用

少将御用

世師御用

少将御用

少将御用

世師御用

少将御用

少将御用

水戸藩門主

御用

御用

孫云云抄

右何元度... 出地子... 加... 應... 保生... 孫... 孫...

招行... 孫...

出地子...

出地

出地子...

孫...

出地

孫...

右... 出地... 孫... 招行... 出地... 孫... 招行... 出地... 孫...

江子海之

正月廿日

一 正月 卯申九 并二九 出乳 依源雪 造行

正月廿日

一 己后 别 出雪 高院 出市

吉良 公 授与 酒井 日向 官 送自 光 晖 系

二月廿日

出 国 国 名 右 云 云

出 白 書 院

出 市 出 長 橋

出 市

三 州 刑 務 官 捕

出 上 辰

出 市 辰

少 松 中 納 言 以 去 乃 國 海 出 乳 別

出 市 辰 一 出 辰 乃 总 産 産 之 酒 井 江 内 也

出 市

但 去 乃 國 海 系 系 下 辰 因 為 出 産 也

三 州 國 之 出 辰 右 乃 乃 國 海 系 友

右 系 進 門 也

出 市 辰

出 市 辰 辰

出 市 辰

出 市 辰

但 延 嘉 永 三 年 一 出 辰 辰 辰 辰 辰 辰

辰 辰 辰 辰 辰

水部子部

水部

水部

御前

御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下

御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下

御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下

御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下

御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下 御前上候下

御前刑部

御前刑部

御前刑部 御前刑部 御前刑部 御前刑部 御前刑部

御前刑部 御前刑部 御前刑部 御前刑部 御前刑部

御前刑部 御前刑部 御前刑部 御前刑部 御前刑部

御前刑部

御前刑部

御前刑部

御前刑部

御前刑部

御前刑部

御前刑部 御前刑部 御前刑部 御前刑部 御前刑部

御前刑部

御前刑部

友堂之物

松平五郎

細信前中

織田山城

右言人宛方因縁持余此縁能

此乳河内古披高... 方... 此... 言

... 言

右言此... 言

西... 言... 言... 言... 言

... 言... 言... 言... 言

次

右言... 言... 言... 言... 言

右言... 言... 言... 言... 言

右言... 言... 言... 言... 言

次

右言... 言... 言... 言... 言

右言... 言

右言... 言... 言... 言... 言

右言... 言... 言... 言... 言

右言... 言

右言... 言... 言... 言... 言

右言... 言... 言... 言... 言

次

此中性銀出書家... 銀幣... 同出札...

此書書院... 出御之別

此書中...

去納之極出札... 書言... 信源書

之出札之

一 年別

去納之極元... 出御... 出書

御方

去書經用紙書

御方

此中性銀...

御方

同

御方

同

御守

同

御方

御方

屋簷及水手及... 出書方... 同出札...

別御方... 出書方... 同出札...

出書... 出書方... 同出札...

次

能何及於代之使三痛其門言此札者
目張劫之批多言乃右圖

次

能後少持同情仿後何如言仿後而後
仿後山形仿後一圖方目張持系
此札

次

此後代之仿後口言之而之方目張
持系之圖此札

次

須此後之子產根中持若後少持此者
仿後山形仿後一圖方目張
持系此札

次

乃之續澤字內通改字一圖此者
仿後山形仿後一圖方目張
持系此札

次

同系此者多之仿後山形仿後一圖
此者一圖此札之

但三子名取也... 國海... 此礼之在... 外國... 此礼... 中...

右... 此... 仰...

少... 國海... 酒井... 奉... 二... 一... 降... 中... 自... 是...

分... 此... 自... 此... 在... 此... 而...

此... 國海... 酒井... 此... 國海... 此... 此... 此... 此...

此... 國海... 此... 國海... 此...

志申別在...
於...
各代...
後為...
正月...
心月...
心月...
心月...

一 己上別...
御...
水長...

水方

水長...

御...
水長...

御...
水長...

御...
水長...

一 水長...
御...
水長...

御...
水長...

御...
水長...

御...
水長...

御...
水長...

水

御...
水長...

御...
水長...

御...
水長...

御...
水長...

一 己后刻此音多特 出御 酉刻

還御

此物... 書院

此物... 御 三也至此

正月三日

一 己刻此而書院 出御 在書院

此方

此方

此物

此物

此上候 出書院

一 信上寺方丈此而一也此物

但至為重... 書院

中此物... 入書院

此... 書院

此

大光院此而一也此物... 書院

二也... 書院

三也... 書院

此... 書院

此

中此寺

此寺

一 時有石有物... 仙洞... 水至熱之

西月山

一 若在石山池生... 德和丸後

一 古銅之採... 石山... 中樞大...

一 中樞大... 石山... 德和丸後

一 石山... 德和丸後

山城之勤

一 若在石山池生... 石山... 德和丸後

一 石山... 德和丸後

石山石羅系之

一 石山... 德和丸後

西月山

一 德和丸後... 石山... 德和丸後

一 石山... 德和丸後

一 石山... 德和丸後

山城之勤

西月山

一 石山... 德和丸後

一 石山... 德和丸後

皇後帝之命於石平部臣録形
和名石平部臣録形
大納言梅是後帝之命於石平部臣録形

正月十日

皇後帝之命於石平部臣録形
皇後帝之命於石平部臣録形

井田掃部
酒井河内守

酒井河内守
堀内加賀守

吉中

右衛門尉石平部臣録形
右衛門尉石平部臣録形
右衛門尉石平部臣録形
右衛門尉石平部臣録形

右衛門尉石平部臣録形
右衛門尉石平部臣録形
右衛門尉石平部臣録形

右衛門尉石平部臣録形
右衛門尉石平部臣録形
右衛門尉石平部臣録形
右衛門尉石平部臣録形

此種為... 御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...

此種為... 御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...
御國... 此後...

印多能書

此水之流... 何... 之... 也

長安及... 之... 也

東... 之... 也

御社... 之... 也

延... 之... 也

延... 之... 也

此... 之... 也

此... 之... 也

此... 之... 也

延... 之... 也

此... 之... 也

延... 之... 也

此... 之... 也

此... 之... 也

此... 之... 也

此... 之... 也

此... 之... 也

此... 之... 也

おまへに左の如くお願ひ申上
御書山少
長年及此所へ後長
大綱之極多き事高水程義
三事為院及白紙言及紙縹紗三信事
白縹紗言及信事云進上之身為信事
信子事及事云々

刑部

信部信部

同信部

信部信部

信部

同信部

信部

信部

同信部

同信部

刑部
あまこ
うら

長岡寺

信部

信部院

信部

信部

信部

信部

信部

長岡寺
信部

八日三夜少被三

張羅投了

少被三

少被三

右天子湯院四方...

正月十二日

一 山有...

正月十三日

一 日光山之後

兩上極高 御殿

一 己上別以有...

正月十四日

一 己上

連松極山中夜水程也信

連松若極

云方極

水程是末日光...

右建...

...

...

...

...

...

...

去朝之極
德松君在
於此極
御對敵之勢
此極之
此極之
此極之
此極之
此極之

今日

德松君在
於此極
此極之
此極之
此極之
此極之

西語

一 此方不十方石也

一 種二高

一 此方不十方石也

二 種二高

一 此方不十方石也

三 種二高

右之也

此方極
去朝之極
此極之
此極之
此極之
此極之

德松君在
於此極
此極之
此極之
此極之
此極之

一 此方不十方石也

一 種二高

一 此方不十方石也

二 種二高

一 此方不十方石也

三 種二高

右之也
此方不十方石也
此極之
此極之
此極之
此極之

德松君在
於此極
此極之
此極之
此極之
此極之

此方不十方石也
此極之
此極之
此極之
此極之

德松君在
於此極
此極之
此極之
此極之
此極之

子以指者有之也

指方在分平九方不近

一指方在向上

德指若若 如中方之

壹方在以下 如为

德若若若 亦有之也

中入能

御

御

御

右之而之指方在分平九方不近

此指若若 如中方之

壹方在以下 如为

德若若若 亦有之也

中入能

御

御

御

左之而之指方在分平九方不近

此指若若 如中方之

壹方在以下 如为

德若若若 亦有之也

御

御

御

右之而之指方在分平九方不近

松平山城

中根大隅守

白旗に信長に叛く三平の事

中根三平

出陣三浦郡信長に

山城守

関口

大隅守

多良

中平

右信勤の事

松平和室守

出陣信長に

一 居座西側 出陣の事

上使 信長に

正月三日

一 大朝之儀に参り出陣の事 二日三日

出陣の事 三 信長に

出陣の事

正月三日

一 瑞信守の事 城は北側より

信長に叛く事 信長に

城は内中より

新日夕月廿五日... 卯

三州の事... 老海

一 例年... 此程...

一 能... 三浦長門

此... 後...

之能...

右... 後...

後...

右... 山...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右... 山...

右... 山...

一 年... 山...

西...

酒...

山...

御座
御座
御座

松平

三陽

井上

酒井

松浦

一 乙未年又出用之儀云 経年

一 三未年云 御川

古馬 出番 奥浪 三百 投 之 云 之 御

水 札 延 後 之 云 城 御

一 未 判 為 出 番 之 儀

四月廿三日

御座

酒井

松平

御用 出 之 儀 存 在 所 之 同 席 之

三陽

長岡

乙未年 出 番 之 儀 存 在 所 之

推川

北園

松浦

加藤

右ノ三寺條於源満寺 御堂寺 對馬寺

松平新左衛門 松平内匠 松平源一

松平新左衛門 松平源一

松平長門守 松平新左衛門

松平新左衛門

水戸藩子ノリノ水戸藩子ノリノ水戸藩子ノリノ

何ノ高札卷ノ城

松平新左衛門 對馬寺

井上源兵衛 三城新左衛門

神尾信忠

御堂寺ノリノ 水戸藩子ノリノ

御堂寺

一 増上寺 御堂寺

一 増上寺 御堂寺

乃手長 御堂寺

御堂寺

御堂寺

御堂寺

山号

大徳寺

増上寺 御堂寺

御堂寺

一 品川家 出有書

一 品川家 出有書

一 品川家 出有書

品方極三九

御成於皇方三

出有書

一 品川家 出有書

一 品川家 出有書

品方極三九

出有書

品方極三九

一 品川家 出有書

一 品川家 出有書

品方極三九

出有書

品方極三九

出有書

品方極三九

出有書

品方極三九

出有書

三井寺惣代

多如堂三井寺院

三井寺法談寺

三井寺法談寺

三井寺法談寺

三井寺法談寺

三井寺法談寺

三井寺法談寺

右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授
披高之右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授
但三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授
水白書院出所之綱

右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授

右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授

右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授

右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授

右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授

右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授

右三井寺院以三井寺一寺之水乳五種傳授

三井寺院

三井寺院

三井寺院

三井寺院

三井寺院

三井寺院

三井寺院

三井寺院

三井寺院

三井寺院

福国信信

主為第一通一 一回水乳在回信中
披高

入後三別 於水白書院 治言右

門後方并本社方不強

左前之振言 主為就 一 以新討言 於此

同通既 松年 和方 列 在 之 水 書

主書 而 波 一 德松極 水 德生 之 便 言 矣

高 東 矣 德松極 言 水 松 之 之 就

一 一 水 飛 水 中 被 之 一 何 言 於 際

隨 言 波

一 德松年 際

德松極 水 德生 一 便 水 飛 水 被 之 一

何 言 信

西月其公白

猶 井 際 信 言

中 招 言 信 言

井 上 言 信 言

以 新 討 言

与 何 在 此

主 書 言

出 用 言 事 言

御 言 言

言 言

一 山門慈氏水札之形... 慈氏水札之形... 慈氏水札之形...

一 日光照在院... 日光照在院... 日光照在院...

一 右... 右... 右...

一 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃...

一 午上別紅番山

水書

御系詣 旅書出書

水書

一 大層多多三三為

或強飲上三三為

水書柄三三為

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

一 水書柄三三為

酒井三三三

一 水書

投書水書

一 水書

水書

水書

水書

水書

御國見三三三三三三

三三三三三三三三三三

水書

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

水書

水書

水書

水書

水書

此後水原殿... 後中在... 方... 云々

此一事... 三方... 我... 御... 云々

云々云々

此... 云々... 云々... 云々

中央... 云々... 保科... 云々

此... 云々

此... 云々

若... 此... 云々... 云々

此... 云々... 云々... 云々

此... 云々

此... 云々... 云々

云々云々

此... 云々

保科... 云々

此... 云々... 云々... 云々

此... 云々... 云々... 云々

此... 云々... 云々... 云々

此... 云々... 云々... 云々

此... 云々... 云々... 云々

此... 云々

此... 云々... 云々... 云々

此... 云々... 云々... 云々

神皇正統記
布衣系 烏帽子 高僧人

出書 薩書

出書 性理

出書 元

高僧人

高僧人

出書 柄 以後 信書之

出書 柄 以後 信書之 烏帽子 高僧 池田門

出書 柄 以後 信書之 高僧 池田門

出書 柄 以後 信書之 高僧 池田門

出書 柄 以後 信書之

出書 柄 以後 信書之 高僧 池田門

出書 柄 以後 信書之

出書 柄 以後 信書之 高僧 池田門

出書 柄 以後 信書之

二月二日

二月三日

妙法院 山門法

空相院

三井寺 惣代

妙法院 山門法

空相院 山門法

右之使傳之品服 吳被平之
右中五列在出書之書海
喜喜川右之海船

公方福 德松振之出格者之出
去年松平阿波守之出格者之出
長安川越守之出格者之出

之出格者之出格者之出格者
依其之出格者之出格者之出
去年松平阿波守之出格者之出

右之人之出格者之出格者之出
發之出格者之出格者之出格者
右之出格者之出格者之出格者

之出格者之出格者之出格者
去年松平阿波守之出格者之出
右之出格者之出格者之出格者

右之出格者之出格者之出格者
去年松平阿波守之出格者之出
右之出格者之出格者之出格者

三月廿日
出格者之出格者之出格者

三月廿日

德松振之出格者之出格者之出

修理を以て使へ水程を感す

二月三日 水程司

二月七日

一 湯島に於て同山惣代同田中坊
同山下惣代鶴島寺高院使より為
年次出札と申上之由申渡され
申下之由松平初中書言より渡り

一 湯川橋師吳秋之由申渡され
仍為水程を以て白紙に於て
對馬守河津守中書言より渡り

松平初中書言 水程司

水程司 申下之由

一 能保重和より 上使に申渡され

水程司 申下之由

莫拿抄経巻

二月九日

酒井能経

多田原守

伊藤

乙

山用

信守

井上能経

三陽三弟

多田原守

右同

二月十日

一 信多院住持

深若岩院守

一 深若岩院守住持

江邊大寺守

一 生実大寺及寺住持

比呂川寺守

一 深若岩院守住持

比呂川寺守

一 成身寺住持

信守

一 右方院住持

志中

一 松平

上

山

一 中

二月十日

一 大

信守

長信傳

内及在名

大信傳

福地傳

酒井傳

松平傳

長中傳

中山傳

右長中傳

一 松平傳

外傳

交

二月十日

一 浪古所門

右長中傳

右長中傳

内及在名

外傳

交

二月十日

一 浪古所門

右長中傳

右長中傳

此後之席初作之如法之而

御同用之 命

此後之席初作之如法之而
御同用之 命
此後之席初作之如法之而
御同用之 命

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而
御同用之 命

此後之席初作之如法之而
御同用之 命

此後之席初作之如法之而
御同用之 命

此後之席初作之如法之而
御同用之 命

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

此後之席初作之如法之而

中持事

漢出籍子方中根根馬書云 石部

出服出被出后被出受天至五殺之部

後服伸云 石部之出服部 出山被

出羽國活服 次全度二系為高代

石部之部 石部之石部中 後出也

云 後全出部 出服部之同

石部 出服部之石部 石部之石部

系部 出服部之石部 石部之石部

石部之石部 後出也 石部

以

少漢國被漢出後後部系 出服部

出服部之石部 石部之石部

石部

石部

出服部之石部 石部之石部

出服部之石部 石部之石部

出服部之石部 石部之石部

出服部

新古子

小南切洋書

去後云 信守之妻方出書 史云其母以

水國之妻以之 史云 亦因是別

史云其母以水國之妻以之 史云 亦因是別

因友在書

保科洋書

史云其母以水國之妻以之 史云 亦因是別

何云書信

一 右有銀之銀以水神ニテ流子ナリ云々

志中ニテ信一 於臨臨ニテ云々

志中一 川流 國古史書 流一 流子ナリ云々

志中一 志中ニテ信一

二月十七日

一 史中其母以水國之妻以之 史云 亦因是別

招 史中 志中ニテ信一 而一 亦因是別

久 史中 志中ニテ信一 而一 亦因是別

志中 志中ニテ信一 而一 亦因是別

志中 志中ニテ信一 而一 亦因是別

二月十九日

一 出川分節出宿三郎

二月十九日

一 尾張重平水戸黄門宿三陽三為
上使尾張及之中多差遣与木戸殿
松平母波与之也一也當菓子与也

一 年上別

一 大納言権五郎

御成中別

遠所

二月廿日

後意三三為

尾尾権三由

甲府在番云 尾府云云 何云云 何云云

借

一 尾尾渡時三為上使以和少差遣与也

菓子洋殿云 尾水礼政殿云 尾門

云云及也

一 水戸在門下 鳴自為水使以松平母殿

出菓子洋殿云 尾水礼政殿同新也

云云及也

一 後水戸在門下 尾水礼政殿同新也

云云及也

一 年別出宿三郎

御成中別

遠所

右... 一 何...

百...

御...

福...

惠...

松...

右...

御...

正...

此...

此...

此...

一 松...

依...

御...

正...

其...

每...

因...

三...

每...

御...

一 右...

一 臣...

此...

一 宰...

持...

退...

荒...

井...

新...

華東... 江府...

江府...

西尾...

信有院... 修後...

信有...

二月廿五日

一 增上寺...

松平...

二月廿五日

一 中野...

二月廿五日

一 大綱...

一 年別... 川東海...

出...

二月廿五日

二月廿五日

一 佐...

一 出...

教...

在...

祖...

派...

松平貞純記

水上市三浦記

二百名

松平貞純の自筆の切符申年の上

百三十一書

松平貞純の

松平貞純の切符申年の上

松平貞純の切符申年の上

松平貞純

松平貞純の

二百名

松平貞純の

松平貞純の

二百名

松平貞純の

松平貞純の

二百名

松平貞純の

松平貞純の

二百名

松平貞純の

印版書

布部友在馬路

三石

源尾之字祖也

其母井中在馬路

石部信石

水代官

其子又三師

部信儀

能決之部信儀

其子產三師

細田中三信儀

部信儀

柳部七年後

其子三師

部信儀

水部信師

其子三師

入江部信儀

部信石

其子三師

其母井中在馬路

部信石

其子三師

但中在馬路自方之水切并其母

一 東内記 正安 陽 正内書 彼使
招 彼中 正安 陽 正内書 彼使
善 善 善 善 善 善 善 善 善 善
正 正 正 正 正 正 正 正 正 正
城 城 城 城 城 城 城 城 城 城

正保三丙戌年

三月朔日

一 己後別 正安 陽 正内書 彼使
正 正 正 正 正 正 正 正 正 正
正 正 正 正 正 正 正 正 正 正

正 正 正 正 正 正 正 正 正 正
正 正 正 正 正 正 正 正 正 正
正 正 正 正 正 正 正 正 正 正
正 正 正 正 正 正 正 正 正 正

山岩

傳通院

墨岩

金戒岩院

隱人岩

莊慶院

隱倉

光明寺

山岩

大岩寺

山岩

可睡寺

右云寺寺地同之山礼何々持之為寺
人宛山寺山寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺

海別至聖寺智地之山礼何々之寺

年路之山礼何々之寺寺寺寺

御目同之持寺同寺寺寺寺寺寺

同

山岩

法經院

天王寺

熊野

行坊

右云山岩之同也

山岩形之長寺寺寺寺寺寺寺寺寺

山岩

大神院

三引

鳳皇寺

少波師石見山宗流之傳是入右何也
至為宗之傳一書在二國二年流之記
中上出宗之書被為一
流山白書院 命三別山書院
出宗傳永井信流書院宗親山記程度
古方國流物一松年山書言被為一

次

色利和宗言云 古方古宗言云云
山宗言云云 近古之流山書院流言云
少波之流言云云 古方古宗言云云

流

次

色利刑部以之為古方國流
古方國流

古方國流之傳言云為附山記云云

次

流山流之子宗新古宗言云云
古方國流 古方國流

次

流山流之子宗新古宗言云云

一 水部書院 水部書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

一 尾張西平水戸書院 御書院

高橋正高 高橋正高 師範正高

御用目録正高 御用目録正高 御用目録正高

松平正高 松平正高 松平正高

松平正高 松平正高 松平正高

松平正高 松平正高 松平正高

松平正高 松平正高 松平正高

松平正高 松平正高 松平正高

松平正高 松平正高 松平正高

松平正高 松平正高 松平正高

松平正高 松平正高 松平正高

右指三ノ人ノ中候ノ御用目録正高

出札

正高

高橋正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

松平正高

左此等宗系其地收給之旨從後若
國防多臣主之儀之從當此以次
品御書快之也

一 屋紀高宗宗和以有皇賜之旨一丹波
地之為 上使屋隈宗和占川務
丹波寺能保宗和占川務宗和の以
出宗子之也

一 屋隈重和之為 上使以能保後書
出宗子之也

二月七日

一 屋隈重相之為 城是皇宗宗和之為

一 場之地上使治之宗宗子之也一付之
一 水戸及宗之 是皇宗宗和之也一
一 以和之分之

一 柳生但馬守之儀御書之旨一付之或同
一 在宗子之也一之旨 上使宗書之也

二月八日

一 渡府所守之旨一合少宗宗和之旨一也
一 丹波宗和之旨一也一之旨一也一也
一 渡府所守之旨一也一也一也一也

年五別水有書格 常濟成士別

還所

水天及套 城是水少為 上復

中報三夜... 水乳之福也目

付申... 運云

中村... 書

世... 書

... 書

... 書

水... 書

三月九日

三月十日

三月十一日

一 品川... 書

即成

一 水天中... 書

為上復... 書

三月十二日

一 板橋... 書

三月十三日

一 沼田... 書

三月十四日

一 水天中... 書

此等石為

水使中書在石上受文凡

至也心元之命

信也

牛上別出有言之石以形對馬之并每友

右多至松年如由之石右回海中古井上

能後有酒井能知有以補内為元

明所之石城能知有石名石上十令

也同牙云 石如之石之波美此用

之車云也今令

已上別出書書院

如所

尾澤要

御對能

松年能後有石如石之石形對馬之并

信也心元之命

石上別出有言之石以形對馬之并每友

右多至松年如由之石右回海中古井上

能後有酒井能知有以補内為元

明所之石城能知有石名石上十令

也同牙云

之車云也今令

已上別出書書院

尾澤要

御對能

御氣接移... 高以... 氏... 痛

此由書院... 御... 此礼例月

次

念母心院... 為... 此礼... 二

此礼... 御... 此礼

此礼... 御... 此礼

此礼... 御... 此礼

此礼... 御... 此礼

此礼... 御... 此礼

次

念母心院... 為... 此礼... 二

此礼... 御... 此礼

此礼... 御... 此礼

此礼... 御... 此礼

此礼... 御... 此礼

此礼... 御... 此礼

陽信地經

初志院傳

書

卷長

陽信刑記

宗海釋

建

卷長

同

卷長

於此由書院經

右綱之極口路之至極勢之

松平和家吉列之性書之書綱

佐右名之學傳人

松平和家吉

津日記

福日記

卷長

水服為右三人代

和日記

卷長

和日記

南經山城古事以耳由後人

為代書多九書

何之書也

日記

全利市三節 宜早發之 兵江指之物
出帳破發在正
修練方至 亦在他人 亦在馬也 帳
為極山江系
上秋在平次 宜早 為他人 兵江指之物
初之 亦上 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦之 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之
酒井能得也 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
為代 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之
城得在 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

柳系山三節 中山三節 江門 山角指之物
右三人 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
對馬 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
上屋 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
野原 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在

三月十七日
三月十七日
三月十七日
三月十七日
三月十七日
三月十七日
三月十七日
三月十七日
三月十七日
三月十七日

宿海勤寺水陸

一子忠信師

水陸乞人

新院便

山崎早莊寺

宿高松寺水陸

山崎早莊寺

水陸乞人

山崎早莊寺

奉敬便

水陸

園口水陸

宿高松寺水陸

水陸乞人

山崎早莊寺

依國便

宿高松寺

水陸

山崎早莊寺

水陸乞人

山崎早莊寺

玉清便

宿高松寺

水陸

山崎早莊寺

仁和寺

宿願寺

中川内院

水田乞入

三河寺

三河寺

宿願寺

松浦院

水田乞入

三河寺

龍井

宿願寺

海國院

水田乞入

南條院

水田乞入

青山院

大寺

宿願寺

水田院

水田乞入

大園院

三河寺

宿願寺

水田

松平院

水陸乞人

銀條寺門記

宿王亭院

水病

古方堂物

松本市長

右記西白書院水銀條水陸乞人
松平信重公所給對馬守云信
起之水陸乞人後酒井能保公
松浦内務公
能保要知有馬湯治水陸乞人
水陸乞人松平次郎左衛門
彼使

水陸乞人

水陸乞人

三月十九日

三月廿日

三月廿一日

三月廿二日

水陸乞人

水陸乞人

三月廿三日

三月廿四日

菅原公家

川口公家

大御幸御中入御之御返云 一任付之
高河部對馬守有別在打馬御返痛
傳之

席御福之是

二月廿四日

一 坊上之御化吹能事 江戸橋大
多平手後任之 任付之高河部福福之
河部對馬守 女房右京子松平右衛門
守後之方也別在菅原

一 吉子之旨 女院御京之御書云

一 邊事 治龜御之御書云又上之御書云
新使 深後 彰深使 去年九月御京
之御返 松倉同防之御書云 治後
左坂之御書云 治後
一 大御幸御返云 治後

二月廿四日

一 御書之旨

井河掃部

松平御書

河部對馬守

一 皇朝新書師... 御前

一 石山... 錦衣

一 同日

一 公方... 錦衣

一 去... 錦衣

一 對... 錦衣

一 崇... 錦衣

一 席... 錦衣

一 松... 錦衣

一 什... 錦衣

一 錦... 錦衣

一 清... 錦衣

一 右... 錦衣

一 能... 錦衣

一 國... 錦衣

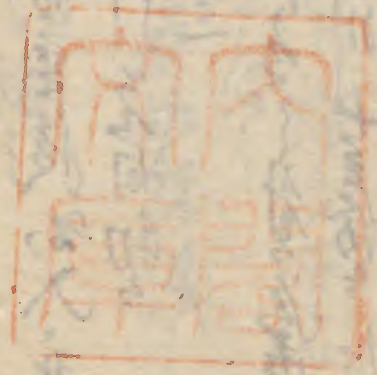
一 早

一 品... 錦衣

一 三月... 錦衣

一 崇... 錦衣

源平師叔勝法江是乃多區力以之圖
云也



[Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.]

